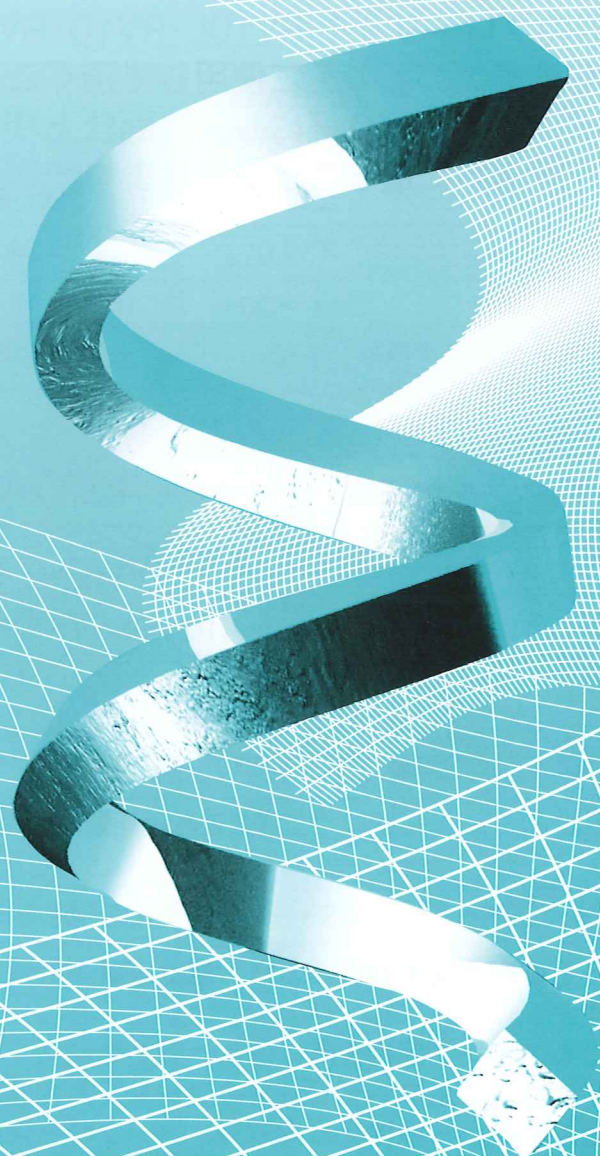


AE減水剤

# SV10

フローリックSV10シリーズ



## AE減水剤 高機能タイプ

# フローリック SV10 シリーズ

近年、良質な骨材の枯渇に伴いコンクリート構造物の耐久性確保の観点より、コンクリート用化学混和剤に対するニーズが多様化しています。

フローリック SV10 シリーズは、これらのニーズに応えるべく、高い減水性に加えスランプ保持性能を向上させるために開発した JIS A 6204（コンクリート用化学混和剤）AE減水剤（I種）に適合するAE減水剤です。

フローリック SV10 シリーズは、従来のAE減水剤の成分と当社が独自に開発したポリカルボン酸系化合物の働きによる高い減水効果およびスランプ保持効果の発揮により、コンクリートの施工性改善、コンクリート構造物の高耐久化を実現します。

フローリック SV10 シリーズには、標準形のフローリック SV10L・SV10・SV10H と遅延形のフローリック RV10L・RV10・RV10H があります。使用目的に応じて最適なタイプのものご使用して頂くことにより、コンクリートのワーカビリティを長時間良好にし、表面仕上りの美しい、耐久性に優れたコンクリートを経済的に造ることができます。

### 性状

区分		AE減水剤標準形（I種）			AE減水剤遅延形（I種）		
種類		SV10L	SV10	SV10H	RV10L	RV10	RV10H
主成分		リグニンスルホン酸塩、オキシカルボン酸塩とポリカルボン酸系化合物					
外観		黒褐色液体					
性状	密度(g/cm <sup>3</sup> )	1.04~1.12	1.04~1.12	1.02~1.10	1.05~1.13	1.05~1.13	1.03~1.11
	アルカリ量(%) <sup>※</sup>	1.2	1.4	0.9	1.0	1.5	1.0
	塩化物イオン量(%) <sup>※</sup>	0.02	0.03	0.01	0.04	0.05	0.01

(※アルカリ量、塩化物イオン量は分析値例)

### 特長

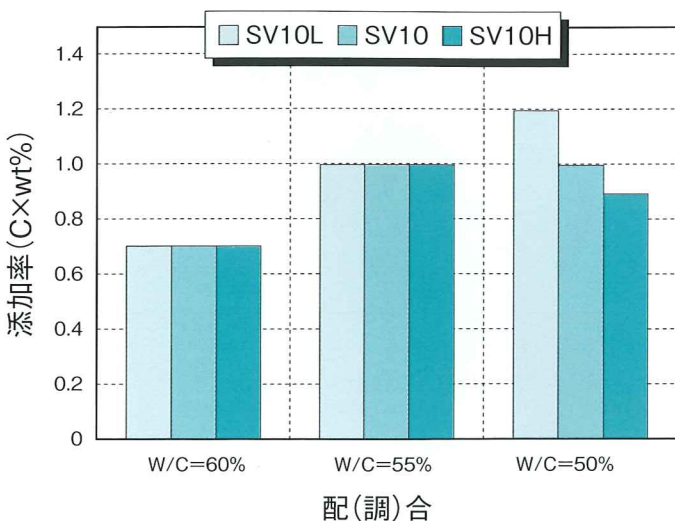
- 従来のAE減水剤よりも優れた減水効果により、単位水量を低減し、ワーカビリティを非常に良好にします。
- 従来のAE減水剤よりもスランプ保持性能に優れ、長時間輸送を要する生コンクリートや、暑中コンクリートにおいて生コンクリートのフレッシュ性状を良好に保ちます。
- 凍結融解抵抗性、水密性の向上、中性化の抑制等、コンクリート構造物の耐久性に大きく寄与します。
- 遅延形のRV10L・RV10・RV10Hは暑中コンクリートのコールドジョイント防止に有効です。

## コンクリート試験結果例

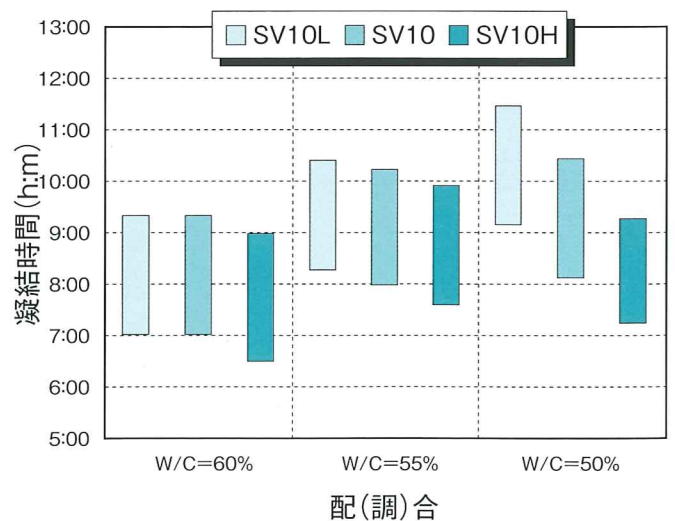
種類	添加率 (C×%)	W/C (%)	s/a (%)	単体量 (kg/m <sup>3</sup> )		SL (cm)	Air (%)	凝結時間 (h:m)		圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	
				W	C			始発	終結	材齢7日	材齢28日
SV10L	0.7	60	48.5	176	293	19.6	4.6	7:00	9:20	23.9	32.8
SV10	0.7										
SV10H	0.7										
SV10L	1.0	55	48.0	176	320	19.1	4.7	8:15	10:25	27.5	38.6
SV10	1.0										
SV10H	1.0										
SV10L	1.2	50	47.2	176	352	19.8	4.4	9:10	11:30	33.2	42.8
SV10	1.0										
SV10H	0.9										

使用材料 セメント：普通ポルトランドセメント 3種等量 混合密度：3.16 (g/cm<sup>3</sup>)  
 細骨材：富津産山砂 表乾密度 2.63 (g/cm<sup>3</sup>) 吸水率：1.55 (%) F.M：2.65  
 粗骨材：青梅産砕石 表乾密度 2.65 (g/cm<sup>3</sup>) 吸水率：0.52 (%) F.M：6.76

### 配(調)合と添加率の関係

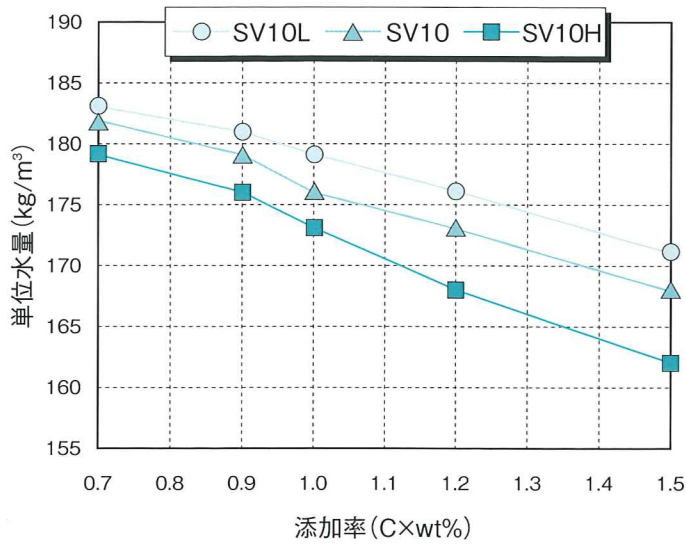


### 配(調)合と凝結時間の関係

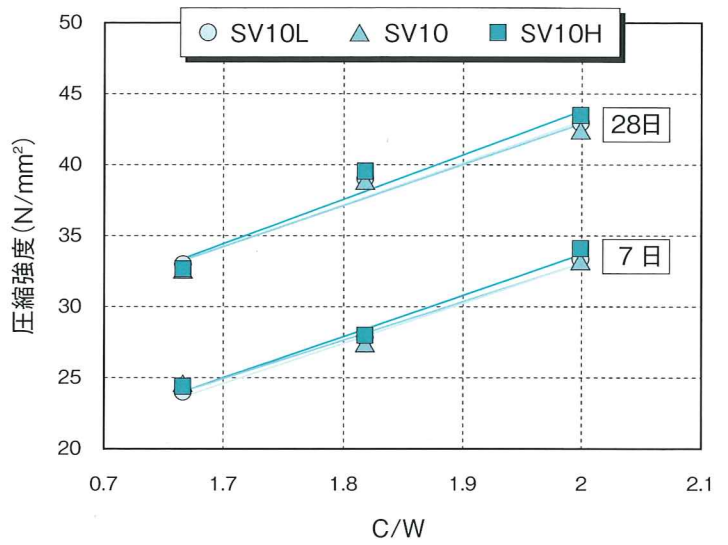


### 添加率と単位水量の関係

(W/C=50%)

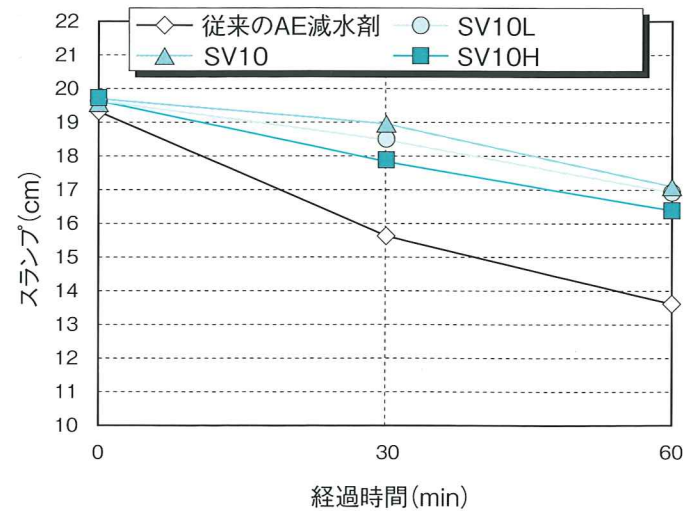


### 配(調)合と圧縮強度の関係

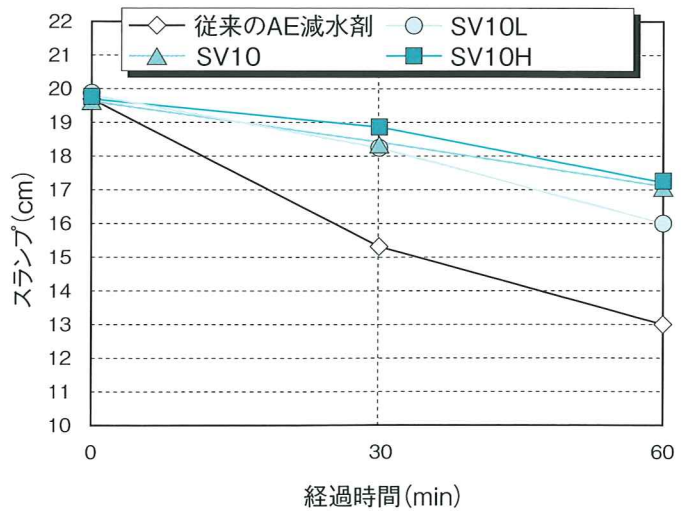


### スランプの経時安定性

(W/C=60%・単位水量=176kg/m³)



(W/C=50%・単位水量=176kg/m³)



### 使用方法と使用上の注意

- 使用条件によって異なりますが、フローリック SV10 シリーズは SV10 L < SV10 < SV10 H (RV10L < RV10 < RV10H) の順に高強度配(調)合に適しています。
- フローリック SV10 シリーズは単位水量の一部として計算してください。
- フローリック SV10 シリーズの標準使用量はセメント質量に対し、1.0wt% ですが、使用目的に応じて 0.7 ~ 1.5wt% の範囲でご使用下さい。
- 連行空気量が少ない場合には、当社の AE 剤をご使用下さい。AE 剤の使用量は当社担当者にご相談下さい。
- 使用量は所定標準量になるように管理してご使用ください。過剰に使用されますと空気量が過大となり、コンクリートの強度低下を起こします。また、標準使用量の 2 倍以上使用しますと凝結時間が相当遅れる恐れがありますのでご注意ください。
- 冬期には凍結にご注意ください。

### JIS A 6204 による試験結果

試験項目		JIS A 6204 標準形 規定値	フローリック SV10L	フローリック SV10	フローリック SV10H
減水率 (%)		10 以上	16	16	16
ブリーディング量の比 (%)		70 以下	46	36	42
凝結時間の差 (min)	始 発	-60~+90	+80	+75	+35
	終 結	-60~+90	+70	+70	+30
	材齢 7 日	110 以上	134	136	136
	材齢 28 日	110 以上	123	126	127
長さ変化比 (%)		120 以下	96	100	96
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	90	92	80

試験項目		JIS A 6204 遅延形 規定値	フローリック RV10L	フローリック RV10	フローリック RV10H
減水率 (%)		10 以上	16	16	16
ブリーディング量の比 (%)		70 以下	55	51	58
凝結時間の差 (min)	始 発	+60~+210	+150	+125	+145
	終 結	0~+210以下	+140	+120	+140
	材齢 7 日	110 以上	136	135	133
	材齢 28 日	110 以上	129	123	123
長さ変化比 (%)		120 以下	92	93	90
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	91	88	91

## 荷 姿

- タンクローリーまたはドラム缶。

## 取り扱い上の注意

- フローリック製品が皮膚に付着した場合には、清水で洗浄して下さい。
- 飲み込んだ場合には、直ちに吐き出し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、清水で洗眼し医師の診断を受けて下さい。
- 詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート (MSDS) をご参照下さい。



日本製紙グループ

## 株式会社フローリック

本 社 〒171-0014 東京都豊島区池袋2-52-8 大河内ビル  
北海道営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西9-3 ジブラルタ生命札幌ビル  
東北営業所 〒981-1221 宮城県名取市田高字南489  
東日本支店 〒171-0014 東京都豊島区池袋2-52-8 大河内ビル  
東京営業所 〒171-0014 東京都豊島区池袋2-52-8 大河内ビル  
北関東営業所 〒355-0008 埼玉県東松山市大谷4137  
北陸営業所 〒939-1353 富山県砺波市十年明163-4  
名古屋営業所 〒455-0035 名古屋市港区熱田前新田字中川東10-5  
西日本支店 〒564-0053 大阪府吹田市市江の木町17-1 江坂全日空ビル  
大阪営業所 〒564-0053 大阪府吹田市市江の木町17-1 江坂全日空ビル  
四国営業所 〒790-0932 松山市東石井3-7-5 タナカビル  
中国営業所 〒740-0022 岩国市山手町1-16-10 山手町ビル  
福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光2-3-22 エアロードビル  
出張所：長野・静岡・高松・岡山・南九州  
コンクリート研究所・東日本技術センター・西日本技術センター  
ホームページ：<http://www.flowric.co.jp>

TEL.03-5960-6911 FAX.03-5960-6915  
TEL.011-290-5666 FAX.011-290-5667  
TEL.022-381-0091 FAX.022-381-0455  
TEL.03-5960-6922 FAX.03-5960-6925  
TEL.03-5960-6922 FAX.03-5960-6925  
TEL.0493-39-5681 FAX.0493-39-5683  
TEL.0763-33-3185 FAX.0763-33-3187  
TEL.052-659-3239 FAX.052-659-3240  
TEL.06-6384-7050 FAX.06-6384-8130  
TEL.06-6384-7050 FAX.06-6384-8130  
TEL.089-957-2144 FAX.089-957-9824  
TEL.0827-22-5191 FAX.0827-22-6341  
TEL.092-473-5725 FAX.092-473-5649